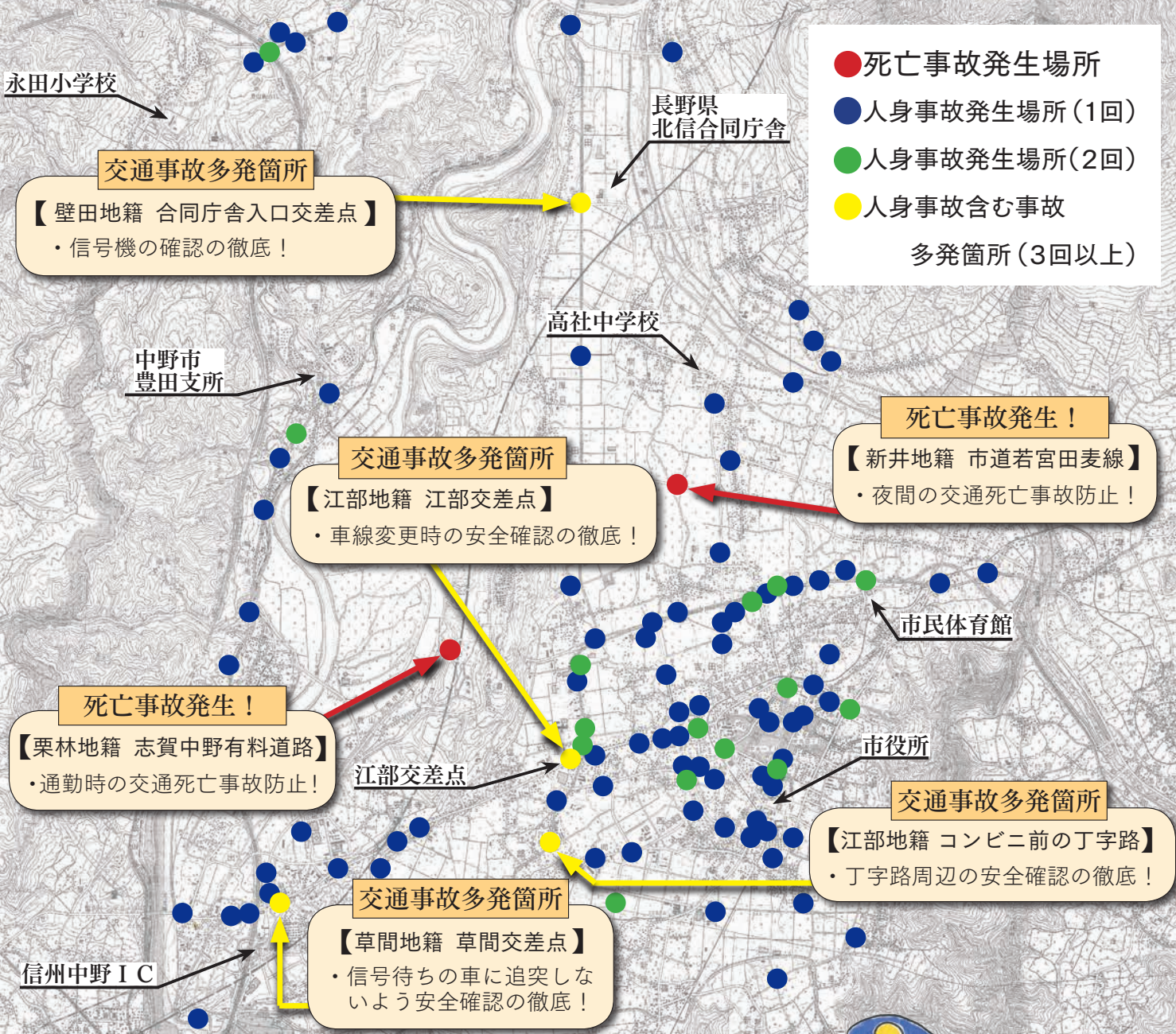


2017年(1月~12月) 交通事故発生状況

危険箇所を把握し、
事故防止に努めましょう！

☎ 市民課 ☎(2) 2111 (内線 238)



- 年間重点事項
- 高齢者の交通事故防止
 - 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
 - 飲酒運転などの根絶
 - 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 通学路・生活道路の安全確保と歩行者保護の徹底
 - 自転車の安全利用の推進
 - 交通事故多発箇所(上図参照)の安全対策

交通安全運動推進の基本方針
 交通事故のない「安全で快適な交通社会」の実現を目指し、「交通死亡事故抑止」を重点課題に交通安全運動を市民総ぐるみで展開するため、関係機関・団体と連携する中で各種対策を強力に推進し、交通安全思想の普及徹底を図ります。

平成30年度交通安全運動推進計画を策定しました



年間スローガン
 『思いやり
 乗せて信濃路
 咲く笑顔』



湯本剛弘さん
からのご紹介

No. 39 関谷 千恵子 さん (間山)



自己紹介

昭和 37 年から 5 年間、中野市役所に勤務し最高の職場生活を送らせていただきました。退職後はリンゴ、モモなど果樹栽培中心の兼業農家へ嫁ぎました。慣れない畑仕事で体調を崩し、大変な時期もありましたが、家族や仲間、友人に支えられ、農業に慣れ親しむことが出来ました。

主人の定年少し前から、農業形態をシャクヤクなどの花卉栽培に切り替えました。収穫の最盛期は朝早くから大変ですが、花卉栽培を生涯現役として打ち込むテーマ（1、美しく 2、やさしく 3、楽しく）と考え、目標達成に向けて頑張っています。

元気の秘訣

一番はスポーツです。特に卓球が好きで、高社卓球連盟に加入し、40 歳のときには、中野市チームとして県大会で優勝したこともありました。

スポーツ以外でも、盛隆寺の仏教婦人会でご詠歌をお教えいただいたり、最近では友人たちとコカリナを始めたり、幅広く活動しています。

おらほの自慢

伝統ある「秋の例大祭」が自慢です。創意工夫された素晴らしい花火が見られます。子や孫の成長など、祈願の花火が夜空いっぱい広がる瞬間は、心から感動するひとときです。



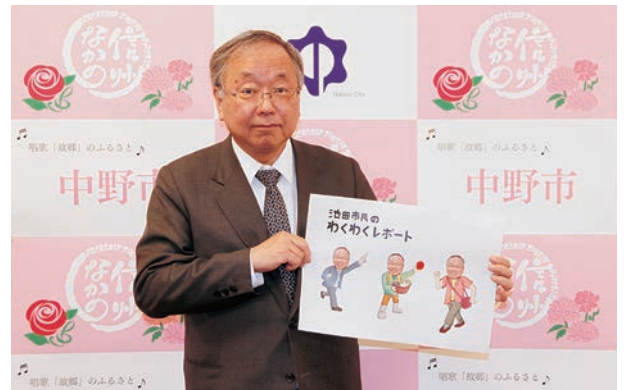
池田市長の vol.52 わくわくレポート

文化が香る元気なまちづくり

新緑が目まぶしい季節となりました。今月は信州なかのバラまつりの開催月。多くのお客様にご来場いただきたいと思ひます。

さて「広報なかの」が、装いも新たに、より市民の皆さんに親しみやすい広報紙として、今月からスタートします。表紙をご覧くださいお分かりいただけますように、中野市に在住のイラストレーターの中川千恵子さんをお願いしました。

中野市は童謡・唱歌のまち音楽都市として、芸術分野で内外に宣伝をしています。音楽ばかりでなく、絵画、彫刻など、芸術文化の幅広い分野で実によくの方が活躍しており、たくさんの市民の皆さんが芸術文化に親しみ、活動しています。こうした文化を支える市民力も中野市の大きな財産・資源です。行政としてもこれらを支える政策を展開していかなければなりません。



▲ 3 種類の市長イラスト

皆さんもご存じのとおり、少子高齢化が急激に進む中で、人口減少はまさに大きな課題であります。子育て環境の整備などに加えて、多くの人に中野市に移住していただく政策を、これから鋭意展開していく必要があります。

そうした中で、まちの魅力、中野市の魅力を訴える必要がありますが、その重要な項目に文化があります。十人十色とは言いますが、中野市に来て、趣味の世界などで、多彩な活動が展開されていることが、多様な人たちに対して、より地域に溶け込みやすい環境を提供することができると思ひます。「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」を、皆さんとともに創っていきたく思ひます。